

ESG投資

～持続可能な経済社会に向けて～

株式市場では、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に配慮した企業へのESG投資が話題になっています。Co2排出の抑制、経済的不平等の是正など持続可能な経済社会を実現する事業に投資していくことは、長期的視点で考えたとき、我々の利益になるという考え方が世界の潮流になろうとしています。世界の最新の動きを理論と実践の両面から読み解きます。

企業の社会的責任

—コーポレートガバナンスとESG—

18:00～19:00



花崎正晴 氏
一橋大学経営管理研究科教授

リスクを最小限に抑え、経営の非効率性を排除して、企業価値を高める「企業統治」は、これからどのような方向に進むべきでしょうか。企業の内部者から地域住民、さらには人類や地球上の全ての生物を企業活動に関するステイクホルダーとみなして企業統治の仕組みやあり方を考えることの重要性は、ますます高まっていくでしょう。

長期投資家に求められるもの

—GPIFのESG投資—

19:00～20:00



高橋則広 氏
年金積立金管理運用独立行政法人
(GPIF) 理事長

約150兆円の年金積立金を運用し、公的年金基金としては世界最大規模の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、日本株の3つのESG指数に連動した投資を昨年始めるなど、ESG投資に力を入れています。GPIF理事長が、ESG投資の背景にある考え方やその意味、具体的な取り組みについて語ります。

2018年**5月21日** 月

18:00～20:00(開場17:15) 一橋講堂(如水会館となり) 参加費:無料

お申込み

▶WEBから ▶『一橋大学開放講座』で検索
▶FAXから 03-3262-2150
(講座名、お名前、ふりがな、電話番号を明記ください)



お問合せ

如水会 研修文化グループ
03-3262-0126 seminar@josuikai.info